

QUICK 企業価値研究所 チーフストラテジスト 堀内敏成

#### ～ 厳しいマクロ環境を織り込みつつ、改善をうかがう展開に ～

### 1. 米国景気への懸念が浮上も、半導体関連市況は改善傾向

19年10月に入り、米国の景気指標(米ISM製造業景況感指数)が想定以上に悪化し、景気の先行きに対する懸念が浮上。株式相場はにわかにな不安定な動きとなった。ただ、企業価値研究所では、米連邦準備理事会(FRB)の金融緩和、大統領選(20年11月)を控えたトランプ大統領の景気重視のスタンスなどから、米国の景気は減速しつつも、後退局面に陥ることなく、底堅く推移するものと

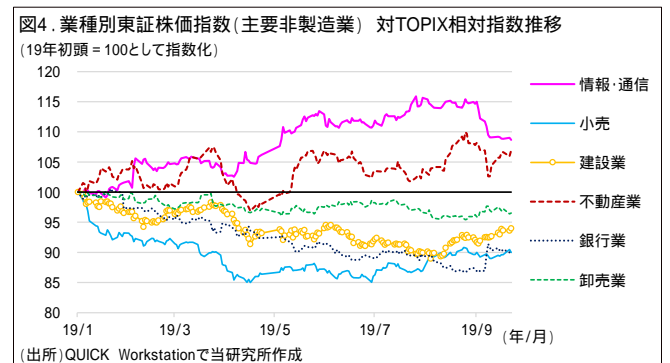
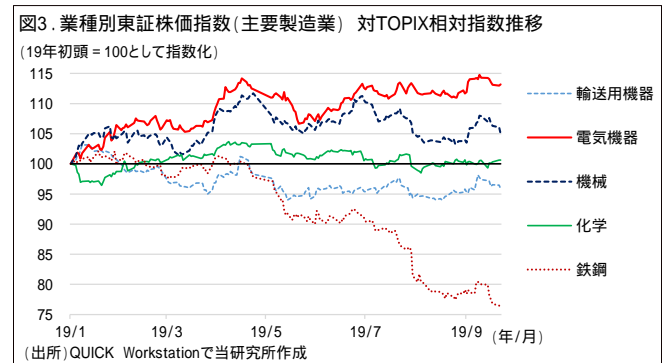
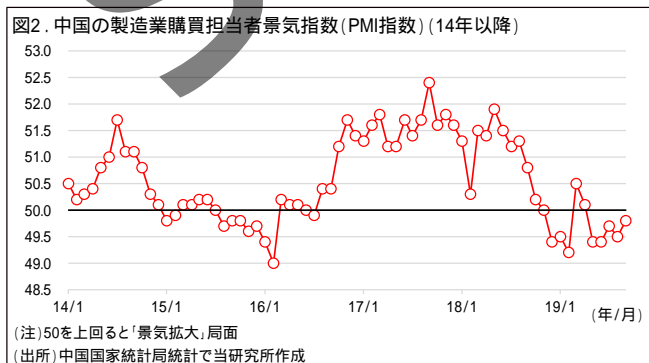
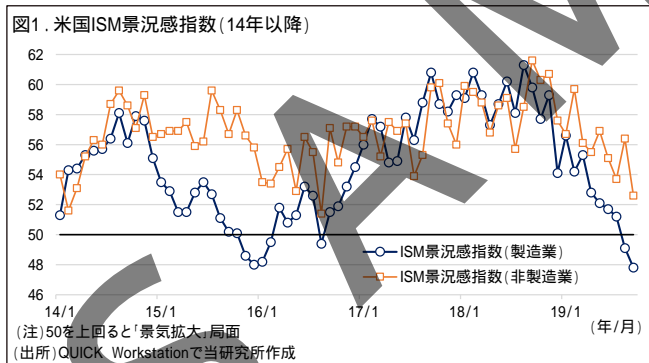
予想する。

一方、米ISM製造業景況感指数に数カ月から1年先行するとされる半導体関連指標が改善しつつあり、関連銘柄の動きは底堅い。米国のフィラデルフィア半導体株指数は高値圏で推移しており、国内でも、業種別東証株価指数をみると、電気機器が19年年初より、趨勢として東証株価指数(TOPIX)に対し優勢だ。

### 2. 19年度2Q業績は厳しい結果を見込むも、改善の兆しがみえるかに注目

当研究所では日経平均株価の予想レンジを、1万9000円から2万3000円程度としており、今回もこの見通しを継続する。国内主要企業の連結業績は、19年度2Qも世界景気の減速、好調だった前年同期の反動などにより、厳しい結果が見込まれる。しかし、悪いながらも、改善の兆しがみえるようであれば、株式市場ではこれを評価する動きが広がる。

東証33業種の月間騰落率をみると、19年9月は海運が首位となった。海運の19年1月以降9月までの順位をみると、5位 31位 33位 1位 32位 3位 2位 31位 1位と非常に振幅が激しい。米中通商交渉への期待と失望、世界景気の回復期待と後退への懸念が株式市場で交互に浮上する様子がよく見てとれる。底流には景気回復への根強い期待があると言えよう。



本資料のご利用に際して重要な事項を最終ページに記載しておりますので、必ずご確認ください。

## 免責事項

- 1 「リサーチネット」サービス（以下、本サービス）は、株式会社 QUICK（以下「QUICK」といいます。）が信頼できると考える情報提供元（以下「情報提供元」といいます。）から取得した情報を、QUICK のシステムを通じて、QUICK または QUICK から許諾を得た者（以下「配信者」といいます。）が提供するものです。QUICK および配信者は、情報提供元から取得した情報について、当該情報の内容、提供の態様及び時期に係る判断を一切行っておらず、当該情報の内容の正確性および信頼性について調査確認する債務を負っておりません。
- 1 本サービスには、QUICK の一部門である QUICK 企業価値研究所が提供するアナリストレポートが含まれています。提供されるレポート等の情報については、信頼できると考えられる情報に基づいて、適切な情報管理体制の下に同研究所が独自の判断で提供しておりますが、当該提供に際して基にした情報及びそれに基づく同研究所の見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
- 1 本サービスは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。QUICK、配信者および情報提供元は、本サービスにより、有価証券の価値等または金融商品の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を行うものではありません。
- 1 本サービスで言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、経済状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。
- 1 投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 1 本サービスに記載された内容は、資料作成時点における判断であり、予告なく変更される可能性があります。
- 1 本サービスに基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、QUICK、配信者および情報提供元は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 1 本サービスに関する一切の知的財産権は、QUICK または情報提供元に帰属します。事前の承諾なく、本サービスで提供されるレポート、資料および情報等の一部または全部の複製や転載、転送または改ざん等を一切禁止いたします。